【資料１】

上郷東地区のまちづくり協議会の進め方

１　まちづくりのスタート

このまちに、引っ越してきたときは、朝のバスは通勤ラッシュ、子どもたちが公園を走り回り、夕方は近くの商店で買い物、それが当たり前の風景。しかし、すでに 30 年以上経過した今。高齢化、少子化が進み、人が減っている。空き家も増えてきた。バス路線も縮小、商店も減り、何か不便で寂しいまちになっている。子どもたちは、戻ってくるだろうか。

でも、このまちには、おいしい空気と緑いっぱいの自然がある。お年寄りが増えているといっても、元気な人が多い。ご近所づきあいだってあるし、やっぱり、いつまでもここで暮らしたい。大好きなこのまちで。

いつまでも、このまちで安心して暮らしていけるようにするためには、何もしないわけにはいかない。新しい人に引っ越してきてもらいたい。空き家だってない方がいい。お年寄りも、ひとりぼっちにはさせられない。もっとみんなで顔を合わせる場があるべき。

こうしたことをみんなで考え、取り組みましょう。まちづくりのスタートです。

２　検討に当たって大切にしたいこと

ポイント１　固定化した進め方はしない

上郷東地区と同様の課題を持ったまちは全国津々浦々。明確な解決策があるわけではない。結論ありきではない議論を進める。

ポイント２　住民の皆様の参加の輪を広げる

まちづくりの議論に多くの皆様が参加できるようにする。若い人などこれからまちを担う人たちの声も大切。例えば、自治会や各種団体ごとでのまちづくり学習会や講演会を開催したり、庄戸小学校や上郷中学校などの子どもたちからも提案をもらうなど。

ポイント３　積極的、前向きな議論

まちづくりの成功は、住民の皆様の（議論よりも）行動力、（少々足を引っ張られてもくじけない）熱意、（いろいろな意見を受け止められる）寛容な心。みんなで、前向き、積極的な姿勢で進めていく。

３　検討の進め方（当面）

ステップ１　今のまちを知ろう

(1)まちの声

ヒアリング、アンケートなどによるまち別、世代別などの分析

(2)まちの財産

自然資源、歴史、伝統芸能、公園、地区センター・ケアプラザなど

(3)まちの活動

福祉、健康づくり、農体験、子育て、環境などの地域活動

ステップ２　まちの強み、弱みを考えよう

上郷東地区のもつ強み考える。上郷東地区の持つ強み（財産・特徴など）と弱み（課題など）を整理する。

ステップ３　まちの将来を考えよう

まちの将来を見据え、新たに創ること、これから育てること、守り・継承することなど地区ごと、テーマごとで考える。

４　情報発信と意見募集

〇ホームページの作成

〇ニュースの発行

〇意見交換

【参考】これまでの経緯

平成 26 年度

平成 27 年度の事業開始に先立ち、キックオフイベントとして「ライフスタイル」等をテーマとした講演会を開催

・３月 21 日　塩見直紀氏講演会　「半農半 X な生活」

・３月 26 日　久保田昭雄氏講演会　「みんなで進める新しい健康づくり」

平成 27 年度

上郷東地区でのまちづくりの進め方について、広報部会等で説明

・５月広報部会説明　「上郷東地区のまちづくりについて」

・６月広報部会説明・班回覧　「上郷東地区まちづくり協議会を設立します！」